

公民館の空調設備 不透明な契約やめ、地元業者の育成を

公民館の空調機を早くなおして、「町民の多数の声です。この願いを口実にしたかのような不透明な随意契約 競争入札なし」で高額な工事契約に「得た」がかりました。10月7日の臨時議会で町長が提案した5,610万円もかかる工事契約議案が賛成4 田中、岡田、野瀬、宮崎の各議員）、反対7 山田裕康、山田亮、阪東、木村、西川、建部、西澤の各議員）で否決されました。この間、9月24日、10月2日の議案説明では全ての資料が提出されず、議員の質問にまともな回答がされない状態が続きました。否決」を報道で知った方から「子育て・教育応援に予算を回すことができるようになって良かったですね」などの声が寄せられました。

西澤議員の反対討論要旨を紹介します。

安倍政権、地球温暖化対策やる気なし、地方にだけ押付け

低炭素化、地球温暖化対策のためには大賛成です。しかし、現政権がその課題に熱心かと言えば、国連「気候行動サミット」に安倍首相は欠席、小泉進二郎環境大臣は発言せず、CO2削減の具体策は、記者に問われて就任したばかりなのでこれから検討すると答え、世界のひんしゆくを買い始末。

一方、地方公共団体には13年度比で40%の削減目標をかかげさせる無責任さ。地方に負担だけを押し付け、構図ではないか。
不透明な競争ナシの随意契約

プロポーザル方式と言いますが、予算作成時の見積も、応募も、随意契約も、全て同一企業とは、まさに当初からの官製談合とよんでも不思議ではありません。

これらの根本的な疑惑を晴らすためには、財務の原則に基づき、公平・公正な競争を札によらなければならぬと思います。

発注は地元業者に
必要な設備であり、県内の設備業者が受注できないとは

限らない。照明と空調の分離公割発注は可能だと思います。

自立分散型が

有利とは限らない

自立分散型は財政面で起債(借金)に対する交付税算入率が高いので、町に利があるように言っていますが、決して、そうとも言えません。借入金返済が履行された後、交付税(困が地方に配分する税金)に算入されるので、返済金そのものが減額されるものではない。借金返済のために、他の予算が圧迫さ

れる点では、何ら楽になるわけではありません。

低炭素化事業と自立分散型事業の実質負担比較でも、947万5000円、対718万7500円、差額は228万7500円です。一方、借金は270万円増えるので、今回の自立分散型事業の方が有利とは限りません(表参照)。

地元業者の育成を

大手企業独占より、何よりも、多くの町民が待ち望んでいることではありませんが、不明朗な状態を残し、禍根を残すことは避けなければなりません。政府の新規事業に飛びついて急ぐより、分離・分割発注など地元業者の育成のため、公平公正な競争入札のやり直しをすべきです。町民の期待に応える改修工事を求めて、討論とします。

注)3月議会では、低炭素化事業」としていたものを5月全員協議会で、1,848万円も多い5,735万円で「自立分散型事業」の設備に変更。6月議会の補正予算で可決。建部議員、西澤議員は反対)。

低炭素化(左)と自立分散型(右)との比較表 <5月20日・町提出資料より>

事業費	38,865,000円	57,350,000円
国庫補助金	25,910,000円	43,012,500円
総額	11,600,000円	14,300,000円
一筆財源	1,355,000円	37,500円
実質負担	9,475,000円	7,187,500円

広域組合議会、ゴミ処理広域化計画の施設建設候補地に「西清崎町」を決定。

10月21日、彦根市、愛荘町、犬上3町で構成する行政組合の議会が開かれ、「ゴミ処理広域化」の「基本計画」が賛成14、反対4で可決。今後、環境アセス、地質調査を経て正式に決定されます。日本共産党の角井、西澤は反対しました。詳しい内容は後日お知らせします。

甲良民報

2019年10月27日 771号【補充版】
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在士373(西澤)
Tel: 38-4949 Fax: 38-2242

ご意見・ご要望をどうぞ。

☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123 松元たけし 38-3875

◎日本共産党の見解を紹介いたします。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】